

## § 2 研究主題

学 校 名	九 度 山 町 立 河 根 小 中 学 校
研 究 主 題	た く ま し く 生 き 、 学 び に 向 か お う と す る 児 童 生 徒 の 育 成 ～ 人 と の 関 わ り や 個 に 応 じ た 指 導 を 通 し て ～
主 題 設 定 の 理 由	<p>本校は自然豊かな環境の中にあり、児童生徒はゆったりと落ち着いた学校生活を送っている。また、日々の学習や部活動にも大変真面目に取り組んでいる。以前は、小学校の卒業生がそのまま中学校に入学してきたので、児童生徒はお互いのことをよく知っており、小中合同で取り組む児童生徒会活動や運動会、文化祭等の交流を通して全員仲が良く、学習面でも小中9年間の見通しと系統性を重視した教科指導を教員が行うなど、小中一貫教育を推進してきた。</p> <p>しかし、一昨年度より、児童生徒のうち、地元の児童生徒は1人だけとなり、校区外からの転入生、転校生が増え、学校生活や学力が十分に定着していない児童生徒が多くなったことから、以前までの取組を継承することが難しく、これら児童生徒に合わせた教育実践や仲間づくりの手立てを新たに構築していく必要が生じてきた。</p> <p>そこで、一昨年度からの2年間は、「学びに向かう力の育成」を主題に、まずは学ぶことは楽しいことだと感じてもらえるように、興味関心のあることを教材にした授業やスモールステップの授業、できたという自信を持たせる授業等を研究してきた。また、ケース会議を通し、児童生徒の特性を共通理解のもと、学習指導や仲間作りを進めてきた。その結果、少しずつではあるが、少人数なりに関係性が形成され、仲間を大切にする気持ちが育ち、個人差はあるが、勉強することは大切だ、勉強がわかると嬉しいという気持ちが育ってきていると感じられる。</p> <p>今年度は2名の入学生を迎え、小中合わせて12名となった。それぞれに気持ちも優しく、素直な児童生徒達であるが、ゲームや夜更かしなどによる生活リズムの乱れや、体力不足など個々に基本的な生活習慣に課題が見られる。学びに向かうには何よりまず安定した登校、そして1日学校で過ごす体力が必要不可欠である。そこで、今年度は一人一人の基本的な生活習慣を見直し、規則正しい生活を心がけさせ、さらに、個に応じた体力向上にも力を入れ、児童生徒が元気に登校することを目指したいと考えた。その上で、学びに向かう力の育成の取り組みを継続させていきたいと考えた。また、特別な支援の必要がある児童生徒については、個の学習の特性を見極め、長所を生かした学習支援の具体策を研究し、より効果的な指導をしたいと思う。そして、児童生徒が学校に登校する上で一番の不安材料となっている「勉強」が少しでも楽しくなるよう、やればできると自信が持てるように、学校での不安を少しでも取り除き、元気に登校してもらいたいと考えた。また、毎週1回の昼休みのみんな遊びや様々な学校行事、児童生徒による自主的な活動を通して、児童生徒がお互いの絆を深め、それぞれの個性を認め合い、安心して学校に登校できるようにしたいと思う。</p> <p>このようなことから、たくましい体と心を育てながら、個の特性を見極めた適切な学習支援をすることを通し、児童生徒が自信を持って元気に学校に登校し、自己有用感を高めることで、将来への自立に向かえるのではないかと考え、本主題を設定した。</p>

<p>研究内容</p>	<p>1 学びに向かう力を育てる</p> <p>(1) 学びに向かう力を育成するための授業内容や指導法の研究</p> <p>(2) 個の特性を見極め、長所を生かした学習指導法の研究</p> <p>(3) 特別支援教育の効果的・具体的な授業方法の研究</p> <p>(4) 読書習慣をつけさせるための手立ての研究</p> <p>(5) 家庭学習を充実させるための手立ての研究</p> <p>2 たくましい心と体を育てる</p> <p>(1) 生活リズムチェック表を使った基本的な生活習慣の見直し</p> <p>(2) 「早寝」「早起き」「朝ご飯」の習慣付け</p> <p>(3) 個に応じた体力向上の方法や目標設定の研究</p> <p>(4) みんな遊びや部活動を通しての体力向上と仲間づくりの研究</p> <p>(5) 豊かな心を育て、よりよい生き方を考えさせる道徳教育の研究</p>
<p>研究組織</p>	<pre> graph TD     A[校長] --&gt; B[現職教育]     B --&gt; C[学力向上研究部会]     B --&gt; D[生活力向上研究部会]     C --&gt; E["○特別支援教育の充実 ○学習指導の改善 ○校内研修の充実"]     D --&gt; F["○基本的な生活習慣の見直し ○体力向上 ○主体的な活動の充実と仲間づくり ○教育相談"]     B --&gt; G["○児童生徒の共通理解 ○道徳教育の充実"]   </pre>
<p>研究方法</p>	<p>○学力向上研究部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の研究計画を立案し、全職員の共通理解を図り、昨年からの研究を引き継ぎ、学びに向かう力を育成するための指導法や自分の考えを伝える力を育成するための指導法の研究の推進に努める。</li> <li>・子どもの特性を調べ、特別支援教育の視点を持ち、長所を生かした学習指導のあり方、具体的で効果的な教材を研究する。</li> <li>・全国学力・学習状況調査や町標準学力検査、県学習到達度調査の結果、普段の授業での様子を通して学習課題を明確にし、指導法の工夫・改善を図る。</li> <li>・中間期検証を行うことで取組の状況や効果を確認し、よりよい実践に向けて研究を進めていく。</li> <li>・校内研修の一環として進んで職員間の授業を参観することで指導力を高めていく。</li> </ul> <p>○生活力向上研究部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムチェック表を使って基本的な生活習慣の見直しと適切な指導をする。</li> <li>・体力向上の具体的な取り組みを検討し、1年を通して継続的に進める。</li> <li>・教育相談やケース会議を通して、一人一人の困り感を共通理解し、児童生徒の発達をどう支援していけばいいか全職員で考える。</li> <li>・みんな遊びや児童生徒が主体的に考えて活動する行事をつくり、自主性を育てる。</li> </ul> <p>○現職教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害や特別支援教育について学び、児童生徒の見方を共通理解し、効果的な指導法を研究する。</li> <li>・道徳教育について学び、児童生徒が自分の意見を自由に表現でき、互いを尊重しながら、一人一人の豊かな心を育て、よりよい生き方について考える道徳科の授業を実践交流する。</li> </ul>